

コロナ禍で明らかになった

日医生涯教育講座 1.5単位(CC12:地域医療)

日本のプライマリ・ケアの課題

本年6月に、骨太方針2022の中で「かかりつけ医機能が発揮される制度整備」が閣議決定されました。病床と外来機能分化に加え、第8次医療計画策定に向けて本格的な検討が加速しています。

この変化は、これまでの医療へのフリーアクセスを根本から変える可能性がある一方で、医療ニーズの変化への対応や効率的な提供の構築と持続可能性を問われます。かかりつけ医制度について、各方面の識者から多様な意見を聞くためのシリーズを企画いたしました。多数のご参加をお待ちしております。(理事 佐土原 道人)

日時

2022年 **11月15日** (火) 19:00 ~ 20:30

対象

医師および医療スタッフ (事前申込制・参加無料)

申込

本講演会は、Zoomウェビナーを使用してライブ配信で行います。右のQRコードをスマホ等で読み取って必要事項を入力の上お申込みください。QRコードからのお申込みができない場合は、お電話でも受付いたします。



申込は11/11(金)17時まで

<http://bit.ly/3qVwJJO>

講師

草場 鉄周 氏

医療法人北海道家庭医療学センター 理事長
一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会 理事長

新型コロナウイルス感染症によるパンデミックは日本の医療が抱える構造的課題をあぶり出し、特にプライマリ・ケアにおいてはフリーアクセスやかかりつけ医の役割に大きな関心が寄せられた。

有事に対応するには平時から制度を整備することが肝要である。

本講演では課題解決の一つの方策としてかかりつけ医の制度化の具体的な方策を提起し、今後の日本のプライマリ・ケアはどのような方向を目指し再構築すべきかを考えてみたい。



(くさば てっしゅう 氏)

【略歴】平成11年3月京都大学医学部卒業、平成11年5月日鋼記念病院 研修医、平成20年4月医療法人北海道家庭医療学センター 理事長・医療法人北海道家庭医療学センター本輪西ファミリークリニック 院長に就任。

【公職】日本プライマリ・ケア連合学会理事長、北海道医療対策協議会委員

【著書】「家庭医療のエッセンス」(カイ書林,2012年)



LINE公式アカウント
友だち募集中!

主催:一般社団法人熊本県保険医協会

TEL: 096-385-3330

Email: kumamoto-hok@doc-net.or.jp

後援:公益社団法人熊本県医師会